

■ドイツ：制度改正も効果薄、歯止めかからぬ太陽光発電の導入

連邦系統規制庁は 2012 年 8 月 31 日、同年 7 月の太陽光発電設備の設置容量が 54 万 kW となり、2012 年 1～7 月までの設置容量が 473 万 kW、2012 年 7 月末現在の累計設置容量が 2,970 万 kW に達したと発表した。一部の専門誌では、2012 年の設置容量は 800 万 kW を超え、過去最高となると想定されている。連邦政府は太陽光発電の導入ペースを遅らせるため、2012 年 4 月の固定価格買い取り制度の改正で太陽光発電の買い取り価格を 20～29%引き下げた。しかし、思惑通りに事は進んでおらず、太陽光発電の大量導入が続いており、その影響で 2013 年の一般需要家の再エネ導入負担額は 2012 年の 1.5 倍程度に増加すると想定されている。